

## 「世界金融情勢の連鎖構造－現況と展望」をテーマに研究会を実施

札幌大学経営学部附属産業経営研究所

経営学部附属産業経営研究所は、2月26日（火）、金融問題研究の一環として「世界金融情勢の連鎖構造－現況と展望」と題して、世界金融を話題とした研究会を行います。

研究会では、ゲストに元証券経済学会代表理事で専修大学名誉教授の熊野剛雄氏を迎え、世界同時株安の原因ともなったアメリカのサブプライム問題に端を発した信用不安が、アメリカの景気後退への連動にとどまらず、世界的な金融市場の混乱、投機資金の流入による原油価格の高騰と世界経済全体の見直しに暗雲を広げるに至った過程と構造を、この問題の第一人者である熊野氏がわかりやすく解説します。

市民の方もご聴講いただけます。事前申込不要です。

日 時：平成20年2月26日（火）16：00

場 所：札幌大学中央棟7階7707会議室（札幌市豊平区西岡3条7丁目3-1）

問合せ先：札幌大学運営事業オフィス広報担当 TEL. (011)852-9190

### 【講師略歴】

熊野 剛雄（くまの・よしお）

1926年、広島県生まれ。東京大学経済学部卒。角丸証券に入社し、日本勧業角丸証券株式部長等を歴任後、専修大学にて教鞭を執る。現在、専修大学名誉教授。主な著書に、『現代の金融経済』共著（世界書院）、『株式の話』（東洋経済新報社）、『銀行と証券』（講談社）など。

### 【札幌大学経営学部附属産業経営研究所】

構造不況業種を多く抱えている北海道経済では、新たな企業戦略と産業振興が切実に望まれており、斬新な発想力と広い視野を持った新世代の企業リーダーが求められています。経営学部附属産業経営研究所は、これら北海道経済の課題について、北海道地場企業の経営実態調査をはじめ、地域経済や道内企業の経営実態を事例的・実証的に分析し、地域経済の新しい発展に結びつくビジョンを提示しています。また、学生向けには会計指導室を設けて簿記検定講座などを行い、学生のスキルアップにも力を入れています。